

野口大使挨拶(ブラジル連邦議会「日本人ブラジル移住118周年」記念式典)
(2026年6月17日(水)9時00分～、於:下院本会議場、ポルトガル語3分)

ルイス・ニシモリ下院伯日議連会長
エスピリジャン・アミン上院伯日議連会長、

ご列席の皆様

おはようございます。

はじめに、「日本人移住の日」を記念し、ブラジル連邦下院議会本会議場にてこのような素晴らしい式典を開催していただきましたことに御礼申し上げます。日本人移住の歴史に思いを馳せ、未来の両国関係の更なる強化に意識を新たにする貴重な場にお招きいただき、光栄に思います。

1908年に笠戸丸がサントス港に寄港して以来、日本人移住者並びに日系人の皆様は多くの苦難を乗り越え、ブラジル社会の発展に多大なる貢献をされてきました。日系人の皆様のご活躍に改めて敬意を表します。また、彼らを優しく迎えて共にブラジル社会の建設に携わったブラジル国民の皆様にも感謝を表します。

世界全体の推計日系人数は約500万人。このうち5割を超える約270万人がブラジルに暮らしているとされます。日系人の皆様のご尽力によりブラジル社会で勝ち得た「信頼」は、今や二国間関係で欠かせない重要な基盤となっています。その基盤の上に、日ブラジル関係は、政治・経済・文化等、多くの分野でさらに深化し続けています。

昨年2025年は「日本ブラジル友好交流130周年」という記念すべき年であり、3月にルーラ大統領が国賓として訪日し、6月には佳子内親王殿下がブラジルをご訪問されました。特にルーラ大統領訪日の機会には、両国が今後5年間で取り組むべき「戦略的グローバル・パートナーシップ・アクションプラン」を採択した他、経済関係者約500名が参加する日・ブラジル経済フォーラムが開催される等、両国間の貿易・投資を拡大する大きな契機となりました。昨日、6月16日には、高市総理大臣とルーラ大統領が会談し、日・メルコスール経済連携協定(EPA)の交渉開始を確認する首脳共同声明を発出いたしました。また、議員交流についても、日・ブラジル・グリーン・パートナーシップ・イニシアティブ(GPI)プログラムによる連邦上院議会議員の訪日、Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムによる地方議員や日系サポーターの訪日等、活発化しております。引き続き、日ブラジル両国議会の交流が更に深まることを期待しています。

また、「日本人移住の日」を記念してテレビ塔、国立博物館及び国立図書館がライトアップされることになっておりますので、皆様にもお知らせするとともに、この場を借りてDF政

府の御協力にも御礼申し上げます。

最後に、本日の記念特別セッションを開催するにあたり、御尽力いただきました全ての関係者に心よりの御礼を申し上げます。日本人移住118周年、誠におめでとうございます。ありがとうございました。

(了)